

水草研究会 第28回全国集会（札幌）の開催報告

平成18年8月5～6日に、札幌市（会場：北海道大学総合博物館）で水草研究会第28回全国集会を開催いたしました。北海道で3回目、札幌では初めての全国集会でした。私自身、このような会をお引き受けするのは初めてで至らない点も多くありましたが、みなさんのご協力で全体としてスムーズに会を進めることができました。

湖・環境科学研究センター)

「早崎ビオトープにおける鳥類の水生植物運搬機能の調査」

3) 藤井伸二 (人間環境大学)・栗林 実 (石垣市)・西川博章 (株式会社ラーゴ)

「琵琶湖沿岸域に生育する寒地性植物種の分布様式」

4) 富沢日出夫 (北海道浜中町役場)

「霧多布湿原の保護の現状」

5) 鹿内健太郎・浅枝 隆・藤野 毅 (埼玉大学大学院理工学研究科)

「流速場におけるマツモの形態的变化について」

6) 高田雅之 (北海道環境科学研究センター環境GIS科)・三木 昇 (北の森自然伝習所)・佐直達夫 (モステクノロジーズ)

「北海道江別市越後沼における湿原植生保全の取り組み」

7) 新開綾子・西村由布子・田中 修 (甲南大学理工学部)

「ウキクサの遺伝子組み換え体について」

8) 岡谷温子・遠藤 純一・田中 修 (甲南大学理工学部)

「エピネフリンによるアオウキクサの花芽分化誘導」

市民セミナー (8月5日午前)

藤井伸二 (人間環境大学)

「水辺のレッドデータ植物と生育環境—近畿地方を例に—」

山崎真実 (札幌市博物館活動センター)

「札幌市内とその周辺の水草を調べる」

研究発表 (8月5日午後)

1) 志田祐一郎 (榊野生物総合研究所)

「北海道北部のヒンジモ生育地の状況」

2) 神谷 要 ((財)中海水鳥国際交流基金財団)・

浜端悦治 (滋賀県立大学)・西野麻知子 (琵琶